

新旧対照表

【製造歩留事務提要の制定について（昭和45年6月1日蔵関第1282号）】

(注) 下線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
<p>第1部 総則 (趣旨) 1～(歩留りを設定する外貨作業) 5 (省略)</p> <p>(歩留りの種類) 6 (省略) (1) 確定歩留り (省略) <u>(2)</u> 標準歩留り (省略)</p> <p>(歩留りの調査) 8 (省略) (1) 事前調査 (省略) <u>(2)</u> 実地調査 (省略)</p> <p>第2部 個別事項 1 生糸から絹織物を製造する外貨作業 (4) 歩留りの適用 <input type="checkbox"/> 計算例 (¤) 計算例</p> <p>必要経糸量 (g/m²) = $\frac{\text{経糸本数} \times \text{製経長} \times \text{織度}(d)}{9,000} \times (1 + L_1)$ $= \frac{7940 \times 1.098 \times 42 \times 1.035 \times 1.02 \times 1.01 \times 1.01 \times 1.03}{9,000} = 45.13 \text{ g/m}^2$</p>	<p>第1部 総則 (趣旨) 1～(歩留りを設定する外貨作業) 5 (同左)</p> <p>(歩留りの種類) 6 (省略) (1) 確定歩留り (同左) <u>(2)</u> 標準歩留り (同左)</p> <p>(歩留りの調査) 8 (同左) (1) 事前調査 (同左) <u>(2)</u> 実地調査 (同左)</p> <p>第2部 個別事項 1 生糸から絹織物を製造する外貨作業 (4) 歩留りの適用 <input type="checkbox"/> 計算例 (¤) 計算例</p> <p>必要経糸量 (g/m²) = $\frac{\text{経糸本数} \times \text{製経長} \times \text{織度}(d)}{9,000} \times (1 + L_1) \times \underline{(1 + L_1)}$ $= \frac{7940 \times 1.098 \times 42 \times 1.035 \times 1.02 \times 1.01 \times 1.01 \times 1.03}{9,000} = 45.13 \text{ g/m}^2$</p>